

2022年10月13日
Peach Aviation 株式会社

国際線続々再開 第5弾は沖縄ー台北線！
約2年8ヶ月ぶりの再開
東京ー台北線は毎日運航へ！
～Peachの強みである観光・インバウンド需要をさらに盛り上げる～

- ・ 11月17日より、沖縄(那覇)ー台北(桃園)線の運航を約2年8ヶ月ぶりに再開
- ・ 東京(成田)ー台北(桃園)線は、10月30日から毎日運航へ

Peach Aviation 株式会社(以下: Peach、代表取締役 CEO: 森 健明)は、11月17日から沖縄(那覇)ー台北(桃園)線の運航を再開し、東京(成田)ー台北(桃園)線は10月30日より毎日運航いたします。いずれも航空券は、本日16:00に発売します。

沖縄(那覇)ー台北(桃園)線は、2020年3月20日に運休してから約2年8ヶ月ぶりの運航再開となり、当面の間は、週7往復で毎日運航します。なお、Peachの国際線の再開は、今回発表の沖縄(那覇)ー台北(桃園)線で5路線目となります。Peachは2021年4月8日から全ての国際線を運休していましたが、大阪(関西)ーソウル(仁川)線を8月28日、大阪(関西)ー台北(桃園)線を9月16日に、東京(成田)ー台北(桃園)線を9月22日に再開しました。さらに10月30日から、東京(羽田)ーソウル(仁川)線を再開し、12月27日より大阪(関西)ーバンコク(スワンナプーム)線に就航します。



代表取締役 CEO の森は「沖縄の皆さま、台湾の皆さま、お待たせしました。ついに沖縄からの国際線が再開します。沖縄(那覇)ー台北(桃園)線は2013年9月に就航した路線で、約1時間半あれば台湾に行けるアジアに近い沖縄は、アジアのかけ橋を目指す Peach を代表する拠点空港のうちの一つです。日本と台湾の渡航制限が大幅に緩和され、これからいよいよ、人々の往来が再び始まります。那覇、関西、成田から台湾へ、そして台湾から日本各地へ、気軽な移動を Peach が実現することで、Peach の強みである観光・インバウンド需要をさらに盛り上げてまいります。Peach は、再びアジアのかけ橋を目指して国際線の運航再開を進め、2025年の大阪万博には海外から多くの方にお越しいただけるよう、国際線のネットワークを拡大してまいります。そして、人々の交流がさらに活発になる事を期待しています」とコメントしています。

Peach は再び「アジアのかけ橋」として、気軽な空の旅を提供し、日本とアジアの人口交流の活性化に貢献してまいります。安全運航を最優先に感染対策を徹底し、皆さまをお待ちしております。

<運航スケジュール>

沖縄(那覇)ー台北(桃園)線

期間:2022年11月17日~2023年3月25日

便名	沖縄(那覇)発	台北(桃園)着
MM925	13:40	14:20

便名	台北(桃園)発	沖縄(那覇)着
MM926	15:25	17:55

<発売日時>

10月13日(木)16:00~

<運賃>

11,980円~34,980円(「シンプルピーチ」片道運賃)

東京(成田)ー台北(桃園)線

期間:2022年10月30日~2023年3月25日

*10月30日のみ MM622として運航

便名	東京(成田)発	台北(桃園)着
MM627	22:00	1:25(+1)

便名	台北(桃園)発	東京(成田)着
MM620*	2:35	6:40

<発売日時>

10月13日(木)16:00~

<運賃>

9,080円~45,580円(「シンプルピーチ」片道運賃)

Peachでは、燃油サーチャージ(燃油特別付加運賃)はかかりません。
運賃の他に諸税・手数料がかかります。

<特記事項>

- ・支払手数料、空港使用料等が別途必要となります。
- ・手荷物のお預け、座席指定は別途料金がかかります。
- ・コンタクトセンター、空港カウンターにてご購入の場合、別途予約手数料がかかります。
- ・運賃額・ご利用条件は予告無く変更および追加設定する場合がございます。
- ・関係当局の認可を前提としています。

運航再開した国際線について

https://www.flypeach.com/mp/others/resume_int

台湾への渡航/台湾からの渡航に関する注意点:

https://www.flypeach.com/mp/others/information_crossborder

感染対策に関する特設ページ:

https://www.flypeach.com/information/jp/infection_control/

Peachについて(www.flypeach.com)

Peachは、2012年3月に関西空港を拠点として運航を開始しました。新千歳、仙台、成田、中部、関西、福岡、那覇の7カ所を拠点空港として、34機の機材で国内線33路線、国際線17路線を運航しています。2022年3月1日に就航10周年を迎えました。